

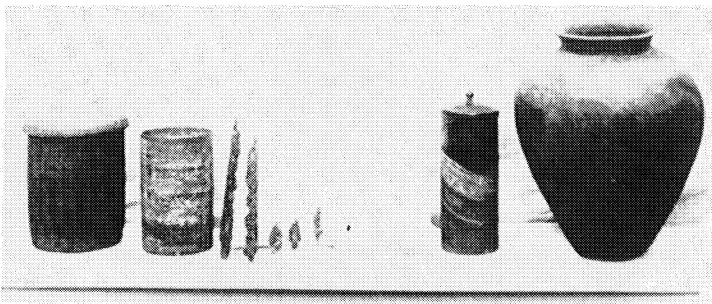
史 跡

# 米山寺経塚群

須賀川市大字西川字坂ノ上



▼ 米山寺経塚出土品  
▶ 米山寺経塚群  
(線内・指定区域)



須賀川市大字西川字坂ノ上地内に経塚群が在り、明治十七年同地内日枝神社の改築、整地作業のおり、塚を崩し銅製経筒・鏡鑑・刀身等を発見した。承安元年(一一七一年)米山寺施入在銘の有する重要文化財の陶製外筒等は第三号経塚から発見されたもので、遺跡はほぼ原形のまま保存されている。すでに、施入者の同一名を有する承安三経筒(重要文化財陶製経筒)福島市飯坂天王寺蔵、県指定重要文化財平沢寺経筒拓本(桑折町氏家宏氏蔵)として、藤原末期における経塚の特色をあらわしている。

経塚は昭和十二年史跡に指定され、昭和五十一年、一号から十号までの経塚の測量と一部の発掘調査を実施して、土盛り、葺石、建物跡と見られる造成面を確認し、須恵器片、外周の溝、石垣等を検出した。これらを含めた地域が追加指定され、名称を米山寺経塚群(昭和五十二年七月二十五日付け)と改められた。